

国内の牛のブルセラ病の根絶への貢献

- 世界的に重要な人獣共通感染症であるブルセラ病について、戦前から一貫して我が国の調査研究の中心を担っています
- 防疫に必要な診断薬を開発・製造し、診断基準を示すことで、国内の清浄化達成に大きく貢献しました
- 近年も民間と共同開発した診断薬が病性鑑定の公定法に位置づけられ、我が国の清浄性の効果的な確認作業に貢献しています



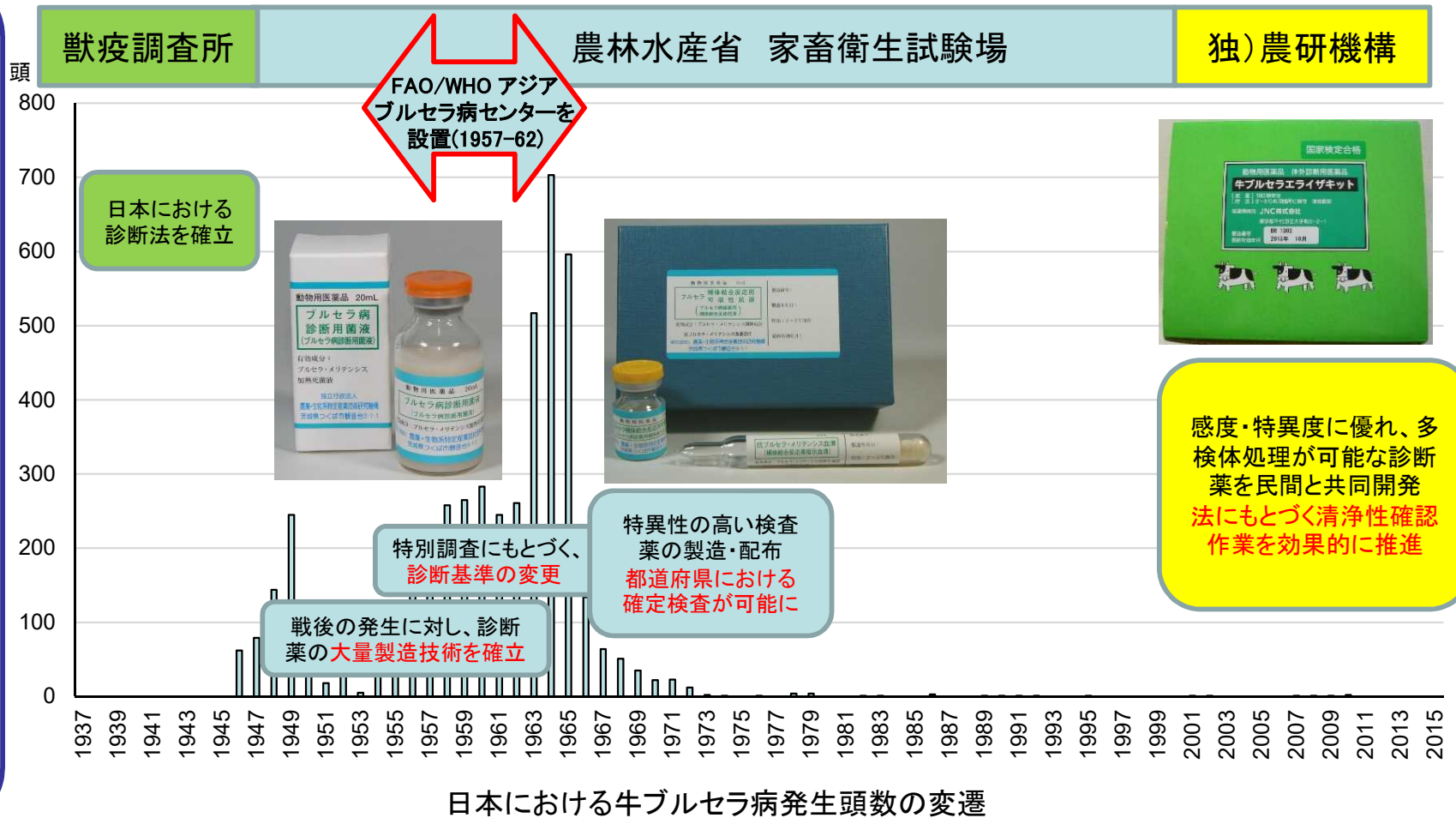
精巣炎の雄牛



流産胎児

牛ブルセラ病

- 細菌感染により、流産・精巣炎を起こす伝染病
- 現在日本、豪州など数カ国を除く、世界中で発生がある
- 感染牛との接触、生乳等を通じてヒトにも感染
- 治療は困難、感染牛の摘発淘汰を行う



☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 動物衛生研究部門 企画連携室

TEL:029-838-7937

FAX:029-838-7907

Email: xx145116@affrc.go.jp